

楽しく学んでみませんか？

# むきばんだ やよい塾

2017年度 第18期 受講生募集！



妻木晩田遺跡は、全国最大規模の弥生遺跡。しかも、山の上の大規模集落という珍しい遺跡。四隅突出型墳丘墓という山陰特有のお墓が密集する遺跡。そんなすご〜い遺跡が、どうしてこの地に営まれたのか、気になりませんか？

「むきばんだやよい塾」は、妻木晩田遺跡のことをもっと知りたい皆さんのための講座です。妻木晩田遺跡を知るためには、山陰各地、列島各地の弥生遺跡のことも知っておきたい。弥生時代だけでなく、その前後の時代も知っておきたい。考古学だけでなく、『古事記』や『日本書紀』、『出雲国風土記』などの文献から紐解く山陰像も知っておきたい。そんな欲張りな講座です。難しそう？いえいえ、大丈夫です。学界の第一線で活躍されている講師の先生方が、初心者にもわかりやすく、楽しくお話していただきます。太古の昔を一緒に探検してみませんか？今まで考古学・古代史に興味のなかった方も、大歓迎です。どうぞ、ご参加ください。

主 催：むきばんだ応援団

# むきばんだやよい塾

【日 時】 月1回、第1土曜日の午後2～4時（但し、1月、5月、11月、1月は第2週）

★都合により、会場・日程・演題が変わる場合もあります。受講生には、毎回ご案内の葉書をお出します。

【会 場】 本学校2F 多目的ホール

鳥取県米子市新開2丁目3番10号 Tel.0859-31-5001 米子産業体育館向かい

【受講料】

一 般：年間12,000円と通信費714円（中途入塾につきましては事務局に相談下さい）

1回のみ 1,500円（とくに事前の手続きはいりません。当日、直接会場にお越しください）

応援団員：1回1,000円でご希望の講座を受講していただけます（応援団年会費2000円）。

【定 員】 一般 60名（定員になり次第、締め切ります）

【申し込み方法】 住所・氏名・電話番号・年齢・「やよい塾 受講希望」を明記し、  
往復葉書で下記宛て申し込んでください。

【申し込み先】 〒683-0841 鳥取県米子市上後藤8-5-33（岩崎方）むきばんだやよい塾事務局

【申し込み締め切り】 3月31日（金）必着

【問い合わせ先】 むきばんだ応援団事務局 TEL 080-1915-6664

## 《講座内容》

■4月22日 開講式

「（仮）平成28年度の発掘調査について～妻木山地区谷部の調査」

講 師：鳥取県むきばんだ史跡公園 職員

講座の開幕は、なにはさておき妻木晩田！むきばんだ史跡公園の考古学担当者に、妻木晩田遺跡の発掘調査の最新成果をお話していただきます。

■5月13日 「『出雲国風土記』の世界」

講 師：佐古 和枝氏（関西外国語大学教授、むきばんだ応援団副団長）

山陰で古代史を学ぶ時の必須アイテムは『出雲国風土記』。どんなことが書いてあるやら、ちょっと覗いてみましょう

■6月3日 「青谷上寺地遺跡の農具～鉄器を中心に」

講 師：君嶋 俊行氏（鳥取県教育委員会）

お正月のBSプレミアム「英雄たちの選択」2時間スペシャルの冒頭に登場したのが君嶋さん！ご覧になりましたか？  
番組で「驚くべき技をもった職人集団が存在した」と紹介された青谷上寺地遺跡の鉄製農具についてお話していただきます。

■7月1日 サハラ記念日特別講座

「佐原真氏と考古学」&「弥生時代の木工と漆芸」

工 楽 善通氏（大阪府立狭山池博物館館長）

毎年恒例、7月講座は妻木晩田遺跡の恩人・故佐原真先生を偲ぶサハラ記念日。奈良文化財研究所で佐原先生と仲良しだっ

た工楽先生に、佐原先生のことと木工・漆芸の両方のテーマでお話しいたします。

## ■ 8月 5日 「弥生時代の埋葬儀礼～西谷3号墓を中心に」

講師：坂本 豊治氏（出雲市教育委員会）

一昨年、発掘調査から四半世紀を経て、ようやく発掘報告書が刊行された西谷3号墓。これで、最大級の四隅突出型墳丘墓の情報が広く共有されることになりました。謎の多い西谷3号墓に、埋葬儀礼という切り口から挑む！

## ■ 9月 2日 「土器からわかること」

講師：藤田 憲司氏（NPO国際文化研究所副所長）

やよい塾第1期から毎年ご登壇いただいている藤田先生に、考古学の初心に戻るべく、土器のお話を頼みました。土器の勉強は、考古学のイロハのイの字。地味なようですが、土器からいろんなことがわかるんですよ。ね、藤田先生。

## ■ 10月 7日 「(仮) 考古学の醍醐味」

講師：深澤 芳樹氏（天理大学客員教授）

蓋を開けてみると、どんなお話が飛び出すかわからない深澤マジック。今回は何でしょうね？

## ■ 11月 11日 「世界の古代壁画の保存と活用」

講師：沢田 正昭氏（東北文化芸術大学教授）

文化財の保存・修復のために世界を駆け巡る沢田先生は、妻木晩田遺跡の保存が決まって最初に発足した整備活用委員会のメンバーで、むきばんだやよい塾にも2度ご登壇いただいています。今回は世界の古代壁画について。楽しみです！

## ■ 12月 2日 「人骨から探る日本の歴史」

講師：橋本 裕子氏（京都大学総合博物館研究員）

ちょっと怖さを感じる人もいるかもしれない「人骨」。怖いとは言うけれど、自分の体の中にはその「骨」が存在しています。骨から知ることができる情報は意外なほど多い。性別や年齢は勿論、身長や体格、筋肉ムキムキとか細マッチョも。知られたくない癖も、骨からばれてしまうこともあるんです。まずは骨から何を知ることができるのかを学びながら、日本の歴史を振り返ってみましょう。

## ■ 1月 13日 「『出雲国風土記』を写した近世の人々～徳川家康から本居宣長、そして出雲人」

講師：高橋 周氏（出雲市教育委員会）

『出雲国風土記』の写本をもとめて全国行脚を続けていた高橋さん。写本からどんな真実が見えてきたのでしょうか？

## ■ 2月 3日 「サメを描いた銅剣の謎を解く」

講師：内田 律雄氏（海洋考古学研究会会長）

長）

昨年2月、鳥取県博所蔵の銅剣にサメの絵が描かれていることが判明して話題になりました。なんで剣にサメ？さてさて

## ■ 3月 3日 修了式記念講義「(仮) 日本古代史の醍醐味」

講師：狩野 久氏（奈良文化財研究所名誉研究員、むきばんだやよい塾塾長）

一年の締めくくりは、われらが塾長・狩野先生。先生は文献史学（古代史）がご専門で、長年、国立奈良文化財研究所（当時）で藤原宮や平城宮についての研究・指導に携わっておられました。古代史の楽しいお話をたっぷり満喫してください。

# むきばんだを歩く会

妻木晩田遺跡のある妻木山・晩田山は自然豊かな山であり、地域の皆さんの里山として愛されてきました。そういう妻木晩田の森の魅力を、みんなで歩いて見つけてまわり、情報発信しようというのが本会の目的です。四季折々に変化する妻木晩田の植物たちをみんなで探索してみませんか。

★ **内 容**：妻木晩田遺跡周辺の植物観察をします。また、観察した結果をまとめて毎月「むきばんだ花だより」を発行したり、むきばんだ史跡公園が主催するイベントで、草木染めや花カルタなどのワークショップもおこなっています（自由参加）。

★ **日 時**：「やよい塾・本科」当日の午前9時30分～12時 少雨決行！

★ **集合場所**：妻木晩田遺跡 体験学習室

県の事業によって集合場所が変更になる場合があります。毎回葉書で事前にご案内します。

★ **指 導**：鷺見 寛幸 先生（鳥取県自然観察指導員）

★ **入会金**： 2000 円（むきばんだ応援団員、中学生以下は免除）

★ **会費**： 資料代～毎回 300 円 小学生以下の子供さんを同伴される場合、子供さんは無料  
通信費（案内葉書代）

★ **定 員**：50 名

★ **申し込み**：お電話ください。「むきばんだを歩く会」事務局 090-3639-0215（中西）

## むきばんだ応援団の団員募集！

「むきばんだ応援団」（団長 坂田友宏・鳥取県文化財保護審議委員）は、一人でも多くの方に妻木晩田遺跡の価値や魅力を伝え、大切に思っていたくために、毎月1回「むきばんだやよい塾」や「むきばんだを歩く会」を主催する他、適宜さまざまなイベント（講演会、シンポジウム、コンサート、子供向け体験学習など）を開催しています。むきばんだ応援団は、団員の皆様の年会費によって維持・運営されています。趣旨にご賛同いただける方は、ぜひ団員になって応援してください。団員には、むきばんだ応援団が主催する事業に特典がある他、「むきばんだ通信」（不定期発行）をお届けします。

★年会費 1口 2000円（4月～翌年3月） 中途入会も同額

★振込み先 郵便振込 口座番号 01340-7-78743  
名義 「むきばんだ応援団」

★通信欄に「2018年度会費」と明記してください。